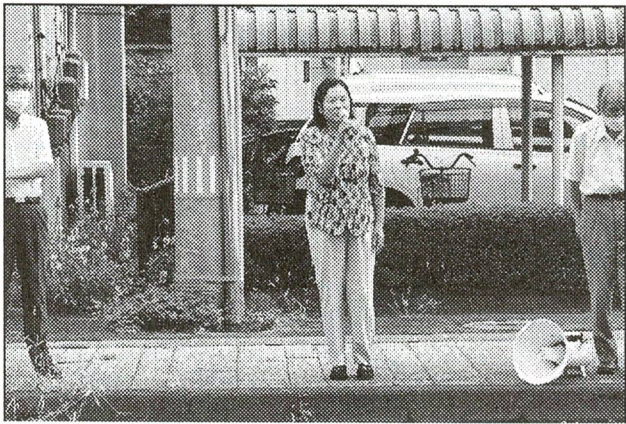


県知事選
県議選

達増県政継続するも、千田みつ子候補19票差で惜敗



4日早朝、市役所本庁前で
決意を述べる千田みつ子県議

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049



9月3日投開票でたたかわれました岩手県知事選挙、岩手県議会議員選挙の結果は、達増県政が継続することとなりましたが、日本共産党の千田みつ子県議候補は、19票及ばず議席を維持することができませんでした。

県議選は一人はみだしの少数激戦で千田みつ子候補は、8428票を獲得しました。前回比668票伸ばしましたが19票及ばず次点となり議席を獲得できませんでした。

千田みつ子候補は、選挙結果を受けて、事務所に駆け付けた支持者を前に、達増県政の継続発展のために力を尽くし、捲土重来を期し、奥州地域でお産ができるようにするため頑張る決意を表明しました。

選挙結果について
知事選挙、県議選挙について、ご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

全国トップクラスの子育て支援策、県立病院の維持・充実を掲げた達増県政の継続ができることとなりましたが、県議選挙において千田みつ子候補を当選させることができず残念な結果となりました。

「奥州市でお産ができるようにしてほしい」という声に応えられるよう、今後も達増県政の発展をめざしてまいります。

そして、心新たに捲土重来を期し、岸田政権の軍事費倍化政策を許さず、市民のくらし優先の市政・県政をめざして取り組んでいく決意です。

引き続きのご支援をいただきますようお願いいたします。

日本共産党奥州市委員会
委員長代行 今野裕文

ゴミ出しが困難な世帯の実態調査を行うべきでないか？



菅原明議員は、「ごみを家の

必要とする人から
話を聞くべきでないか？

中に置いてい
る人もいるの
でないか」と
して、支援を
必要としてい

菅原明議員は、高齢化や核家族化の進展に伴い高齢者のみの世帯が増加し、ごみ処理が大きな悩みになっているとし、ごみ出しサポートを必要とする方の実態を把握すべきだと質しました。

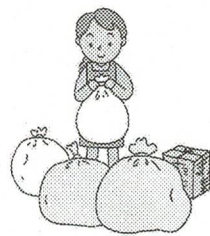
実態調査は行っていない

倉成淳市長は、ごみ出しサポート要支援者の実態調査は行っていないとし、地域ネットワーク会議で話題になっていることを認めました。

そのうえで住民自らの共助のしくみを構築し、介護保険などの公共サービスとの連携のうえ、家庭ごみの収集体制の課題もあり、検討しなおすと回答しました。

9月1日から奥州市議会9月定例会が開催されています。日本共産党市議団は、住民の福利向上をめざし一般質問に立ちます。5日菅原明議員が、①高齢者世帯のごみ出し支援について、②新型コロナウイルスの5類移行後の状況について質しました。

る人たちから声を聞くところからスタートすべきでないかと提案しました。



新型コロナウイルス感染症の5類移行の 感染拡大と支援策について

今年の5月8日以降新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同様の扱いになり、厚生労働省が9月1日に発表した直近1週間の「定点把握調査」によれば、定点医療機関当たりの平均で岩手県が最多にのぼることが明らかになりました。

菅原明議員は、このことから、高齢者施設や医療機関への支援が必要でないかとして、市内のコロナ感染症の実態と支援策を市長に質しました。

感染者数は県内で最も多い

倉成淳市長は、7月下旬から急激な感染拡大がみられ、8月14日から20日までの一定点当たりの感染者数は60

支援策については、高齢者施設には、県から週一回、従事者の検査キット支給が継続されている。医療機関には、国の方で、状況を見ながら支援策が検討されていると述べるとどまりました。

菅原明議員は、社会福祉協議会にのみ頼る形ではなく進めるべきだと強調しました。

調査について検討していない

担当者は、調査については、具体的に検討していない。地域福祉ネットワークの中で、要支援者の把握をしていただいております。そこから地域の実情を把握していきたいと述べるにとどまりました。